

大雪山国立公園

山層雲の峡ビジュアセンター



大雪山系黒岳九合目・マネキ岩下沢筋のウラジロナナカマドの紅葉



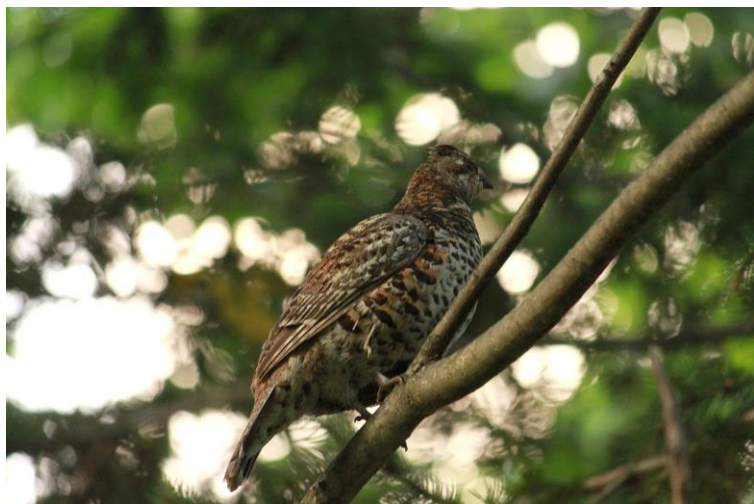
黒岳石室周辺

雲ノ平周辺

お鉢平周辺

赤石川方面

《大雪山系：黒岳周辺の紅葉～9月》今年の紅葉は8月下旬から色付きはじめ、例年並みの9月中旬に見頃を迎えました。紅葉当初は、定説を覆し標高の低い場所から色付き始め、徐々に山頂に向かって紅葉していくという過去に例のない色付き過程となりました。原因は色々と考えられますが、雨量や日照時間・気温・風等々も関係してきますが、標高の高い場所では気温は下がってはいるものの、日中の気温が上がらず「寒暖の差」がつかなかったことも挙げられます。いわゆる「寒寒」状態。標高の低い場所は、気温はさほど下がってはいませんが、日中の気温が上がったため「寒暖の差」が出て先に色が付いたと推測されます。但し、9月初旬にはそれらも解消され、昨年同様に深みのある濃い赤色のウラジロナナカマドが出た年となりました。



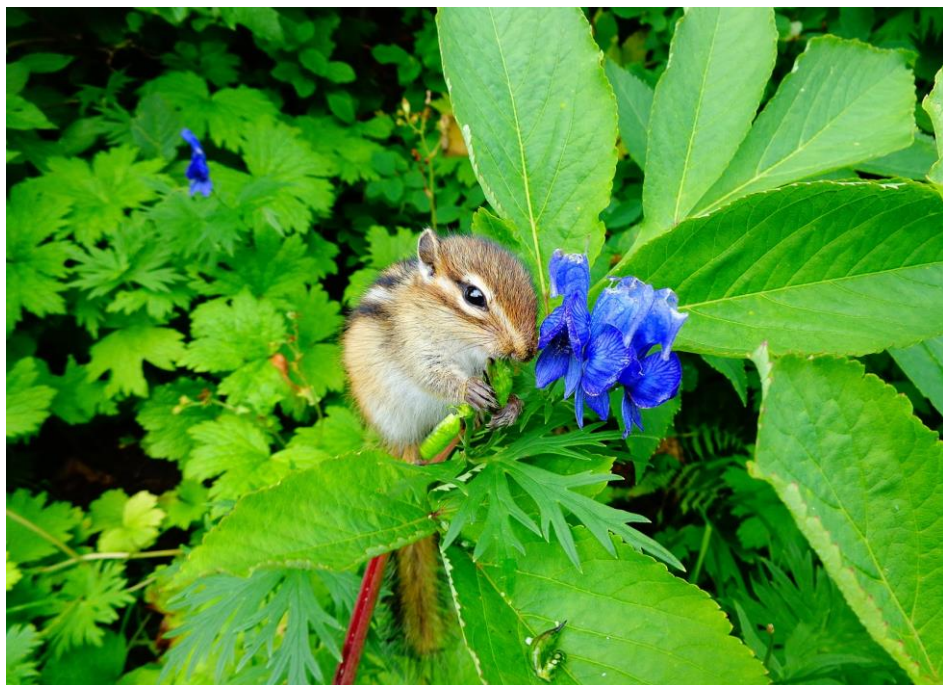
《 エゾライチョウ ～ 8月 》

体長約 35 cmで、ずんぐりとした体型です。鳴き声は甲高く「ピーッ ピッ ピッ ピッ」。主に、広葉樹の葉や草、種子や果実、昆虫類も食します。冬は、広葉樹の冬芽や花穂を採食します。層雲峡周辺の林道で見つけましたが、今年は黒岳六合目周辺で繁殖があり、雛 8羽を引き連れ登山道上を歩く家族群の姿が見られました。本州の高山帯に生息するライチョウとは属が異なり、羽の色は変化しません。



《 エゾシマリス ～ 8月 》

数分間「追いかっこ」をした後、写真のようにゆっくりと「ふれあう」仕草を始めました。仔リスですが、巣穴から初めて出てきてから約2週間で「自立」しますが、近くにはこの2匹のみでしたので明らかに自立したリスでしょう。じゃれ合っているのか、繁殖行動の一種なのか……。数分後、また追いかっこをしながら森の中に消えていきました。写真は撮れませんでしたでしたが、この仕草の前に何と「キス」まで……。



《 大丈夫? ～ 8月 》

エゾシマリスが「ダイセツトリカブト」の茎と種子を採食していました。ご存知の通り、トリカブトには毒がありますが、特に「根」が猛毒ですが、全草にあります。以前はこのような光景は目にしませんでした……。他の動物に比べ、分解する酵素が強いようですが、しかし、種子はアルカロイドが強い為、決して身体には良くはないのですが、経過の観察ができないためその後の状況が気になります。また、近くには「エゾシカ」が葉を食した痕跡も見つけられました。

**\* 黒岳周辺 消雪時期比較**

場所	2015消雪時期	2014消雪時期
黒岳七合目	7月5日	7月16日
黒岳八合目	7月5日	7月16日
黒岳九合目	6月16日	7月4日
石室周辺	6月10日	6月10日
石室～赤石川	7月16日	7月16日
北鎮岳分岐下	7月27日	8月25日

比較的暖かく推移した「4月期」の影響で、今年の大雪の雪どけは昨年比かなりの早さで消雪しました。特に、毎年難所であり遅くまで雪が付いている「北鎮岳分岐下」は、昨年比約1ヶ月も早くに消雪となりました。高山植物の開花の早まりを危惧しましたが、5月から7月にかけて気温が上がらない寒い日が続き、6月初旬には大雪山一帯に降雪があり、また、7月には断続的に「霜柱」が至る所で見られ、この不安定な天候の影響で少なからず「高山植物」の咲き方に影響が出ました。



《群生～8月(8/12)》 不安定な天候の影響で、今年の高山植物の開花やその後の状況が「弱く」推移しましたが、雪どけ部から開花した植物は悪天の影響を受けず、写真の通りの群生となりました。エゾツガザクラ・コエゾツガザクラ・アオノツガザクラ・エゾコザクラ、また局所的ではありましたがチングルマも群生となりました。



■ 平成 27 年度年間講座 ■

11月01日：地質巡検・白水川林道  
 12月20日：大雪山麓を歩く・大函箱ノ上  
 01月24日：大雪山麓を歩く・大雪湖  
 02月21日：大雪山麓を歩く・  
 ニセイチャロマップ  
 03月13日：大雪山麓を歩く・七賢峰の滝  
 上記の他に、夏期は紅葉谷の定点観測、冬期は紅葉谷のスノーシューを企画しています。是非、ご参加ください。お待ちしております。



折って切って開いたら、あらすテキ♪  
 子供から大人まで楽しめます。  
 参加自由・無料/申し込みは不要です



■ 2014大雪山フィールドノート写真展 ■  
 【日時】 常時展示  
 【内容】 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。  
 【場所】 ビジターセンターレクチャールーム  
 皆様のお越しを心よりお待ちしております。

★★観覧会は事前申し込みが必要です★★★詳細についてはお問合せください★★

しきものカレンダー

7月 ↓		黒岳他気象 ↓	
7/24	ホシガラス多数	黒	7/22 大雨のため、銀泉台15時通行止め
7/29	カヤクグリ、ナキウサギ	黒	7/24 4月からの不安定な気象の影響で、雲ノ平方面のチングルマ等は萎れかけ目立つ。群生とならず。
8月 ↓		7/25	赤岳第四雪渓消雪
8/3	ナキウサギ、カヤクグリ、ギンザンマシコ	黒	7/29 北鎮岳分岐下雪渓消雪 昨年比約一ヶ月早く消雪
	シマリス、テゴハヤブサ	上	8/1 大雨の影響で愛山溪・銀泉台通行止め
8/7	クマタカ、エゾライチョウ (層)	上	8/1 愛山溪イズミノ沢の橋豪雨の影響で流される
8/8	国道でエゾクロテン車の犠牲に、仔ジカ	上	8/3 黒岳石室早期5℃ 凌雲岳裾野色が「抜けて」きた
8/9	国道で仔ダヌキ車の犠牲に	上	8/4 赤岳第二雪渓消雪
8/20	エゾシカ親子、アオジセンター建物に衝突	層	8/12 ウラシマツツジやや色付く
8/21	エゾリス	上	8/13 石室6℃
8/24	ナキウサギ、エゾオコジョ、ピンズイ	黒	8/20 石室6℃ 七合9℃
8/29	ホシガラス多数	黒	8/24 石室早期4℃も、紅葉ゆっくりと進行
9月 ↓		8/25	石室4℃
9/3	オオトリ若鳥 時間帯別にニ羽センター建物に衝突	層	センター前最低気温は5℃
9/6	ホシガラス多数、ナキウサギ、ギンザンマシコ	黒	8/25 ロープウェイ下、銀泉台林道、温泉街峡谷ダケカンパの枯れが広範囲に広がる
9/7	エゾタヌキ	上	8/29 黒岳山頂～雲ノ平 ウラシマツツジ見頃に
9/8	アライグマ	上	黒岳六合目周辺までウラジロナナカマド色付く
9/10	エゾリス	層	黒岳山頂からのウラジロナナカマドは1割程度
9/11	ナキウサギ	黒	黒岳北東斜面の色付きが山頂周辺より早い
9/11	ノスリ	上	9/1 上記の現象、赤岳、緑岳、高原沼も同様
9/14	ホシガラス多数、ルリビタキ	黒	標高1500m付近の気象は寒暖の差があるが、それ以降の頂上付近は、その差が小さいと推測
9/14	オジロワシ、ヤマセミ	層	9/5 石室1℃、終日一桁の前半で推移 早朝あられ・霜
9/14	ミンク (外来種) 国道で車の犠牲に	上	急激に冷え込んでいるが、日中の気温が上がらずこの影響で、標高の高い場所は色付きが進んでこない状況
9/17	ルリビタキ、エゾフクロウ	黒	9/6 石室-1℃ 各所に霜柱・氷
9/18	シマリス	上	9/10 黒岳・銀泉台見頃に
上川層雲峡・気象 ↓		9/10	昨日の気象で大雪山系全体的に色付き進む
7/22	上川町日降水量75.5mm 観測史上7月4位	9/10	台風17.18号の影響で、悪天強風続く
7/31	上川町日降水量82.5mm 観測史上7月3位	9/11	愛山溪温泉 沼ノ平見頃
7/31	上川町日最大瞬間風速13.9m/s 観測史上7月5位	9/12	高原温泉 滝見沼・緑沼見頃
7/31	上川町日最大10分間降水量15.0mm 観測史上8月1位	9/14	台風18号の吹き返しの影響で、ナナカマド等枯れかけ出始めるも大雪全体的に最盛期に
8/1	上川町日最大1時間降水量38.5mm 観測史上8月2位	9/15	初雪 石室早期マイナス7℃
8/1	層雲峡日最大1時間降水量35.5mm 観測史上8月2位	9/16	石室早期2℃
カレンダー一期間：7/21-9/20			
観測地		： 上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳	

発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～ 5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2015年9月25日発行

白黒紙面でご覧の皆様へ ～パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。

今月の子びたね



大雪山高原旭ヶ丘・森のガーデン周辺のひまわりです。満開のひまわりと大雪山系愛別岳。何とも幻想的でした。